

# 耳目記

芥川龍之介

青空文庫



× 僕等の性格は不思議にも大抵頸すぢの線に現はれてゐる。この線の鈍いものは敏感ではない。

× それから又僕等の性格は声にも現れてゐる。声の堅いものは必ず強い。

× 筍、海苔、蕎麦、——かう云うものを猫の食ふことは僕には驚嘆する外はなかつた。

× 或狂信者のポルトレエ——彼は皮膚に光沢を持つてゐる。それから熱心に話す時はいつも片眼をつぶり、銃でも狙ふやうにしないことはない。

× 僕は話に熱中する度に左の眉だけ挙げる人と話した。ああいふ眉は多いものかしら。

× 僕は教育なり趣味なりの大抵同程度と思ふ人々に何枚かの女の写真を見せ、一番美人

と思ふのを選んで貰つた。が、二十五人中同じ女を美人と言つたのはたつた二人るただけだつた。即ち女の美醜びしうを定めるのさへ百分の四以上を超こえないらしい。しかもこれは前に言つたやうに教育なり趣味なりの程度の似よつた人びとの間あひだだけである。

×

或果物問屋くだものとんやの娘の話。——川に西瓜すゐくわが一つ浮いてゐると思つたら、土左衛門どざゑもんの頭だつたのです。

×

僕は肥ふとつた人の手を見ると、なぜか海豹あざらしの鱗ひれを思ひ出してゐる。

×

僕は女の人生の戦利品を三つ記憶してゐる。

一つは長女うしろに後うしろを向けて次男に乳をのませてゐる女親。

一つは或女給さかの胸むねに下さかつたいろいろの学校のメダルの一ふさ。

一つは或玄人くろうとあが上りの細君さいくんの必ず客の前へ抱だいて来る赤児。

(昭和二年四月)





# 青空文庫情報

底本：「芥川龍之介全集第四巻」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1971（昭和46）年10月5日初版第5刷発行

入力校正：j.utiyaana

1999年2月15日公開

2003年10月7日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたってのは、ボランティアの皆さんです。

# 耳目記

芥川龍之介

2020年 7月17日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>